



小羽山

R7. 7. 1.
小羽山小学校だより
第637号



小羽山小HP

プールから子どもたちの元気の良い声が聞こえてくる季節になりました。
1学期も残すところ1ヶ月を切りました。学級・学校全体で学びの足あとを確かめながら、次へのステップアップができるよう、子供たちを支えていきたいと考えています。



ご家庭でも、引き続き日々の健康管理に努めていただきますとともに、子供たちに励ましの声をかけてくださいますようお願いいたします。

よろこびのある学校生活を！

さて、子供たちが日々の生活において、「うれしさ」や「喜び」を感じる時は、どのようなときでしょうか。

すぐに思い浮かぶことは、例えば、おいしいものを食べる、プレゼントをもらう、行きたかったところに出かけるなどです。私はこれを「モノ・ことによる喜び」と考えています。日常生活の中にこの「喜び」があると生活に潤いをもたらし、励みにもなります。そういった意味でこれは大切な「喜び」であると思います。

二つ目は、「成し遂げたことによる喜び」です。例えば、これまでできなかった逆上がりができるようになった、漢字テストで100点がとれた、二重跳びができるようになった、自転車に乗ることができるようになったなどがこの「喜び」になるのではないかと思います。できなかったことを克服し、できるようになったなど何かを成し遂げたことによっても「喜び」を感じることができます。学校生活の中でも自分自身に挑戦させ、壁を乗り越えさせ、達成感を味わわせるなど「成し遂げたことによる喜び」を感じさせたいと思います。

三つ目の「喜び」は、例えば、家庭で手伝いをしてお家の方から「助かった」と言われたとき、転んだ友達を保健室に連れていき「ありがとう」と言われたときなど、人が喜んでる姿を見て、なんとなく自分もうれしくなる、心がほかほかしてくるときに感じる「喜び」です。自分が人のために行動して感謝されたときに「人のために役に立った喜び」を感じることがあります。ご家庭での「お手伝い」は、この「喜び」を感じさせる意味でも大切な機会であると感じています。先に述べた一つ目と二つ目の「喜び」は、「自分のための喜び」ですが、三つ目の「喜び」は「人のため」に行動した結果得られる「喜び」です。これからも子供たちが学校生活の中で様々な「喜び」を感じることができるよう指導して参ります。



夏休み 子どもたちは家庭で、地域で育ちます

夏休みに、子どもたちはご家庭で、地域で過ごして育っていきます。夏休みだからこそできる体験から学んでいってほしいと思います。そこで大切にしてほしいことは、次の3点です。

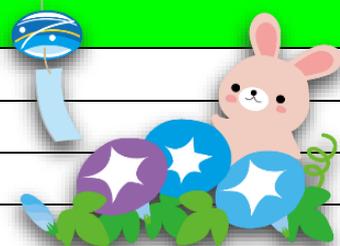


- * 体験のめあてや目的をしっかりとつこと
- * 「なぜ?」「どうして?」と問いかけをもって考えること
- * 人とのかかわりをもつこと

また、夏休みは、家庭や地域社会のルールやマナーを学ぶよい機会です。ご家庭、地域でのご指導をよろしく申し上げます。子どもたちが生き生きと喜びを感じる姿がたくさん見られますことを願っております。

<7月の主な学校行事等>

1	火	SC 来校	17	木	
2	水	4 校時授業	18	金	終業式 4 校時授業 給食終了
3	木		19	土	投票所準備 (体育館使用)
4	金	参観日 個人懇談 (希望者)	20	日	参議院選挙投票日 (体育館使用)
5	土		21	月	海の日 (夏季休業～8/24 まで)
6	日		22	火	
7	月		23	水	
8	火	選書会	24	木	
9	水	フッ化物洗口	25	金	
10	木		26	土	
11	金		27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月		30	水	
15	火	SC 来校	31	木	
16	水	フッ化物洗口			



8月以降の主な学校行事(予定)

8月12日(火)～15日(金) 当番不在日

8月25日(月) 始業式, 給食開始, 短縮授業 13:00 頃下校

8月26日(火)～29日(金) 短縮授業 13:00 頃下校

*「転出予定のある方」へ

令和7年7月1日～令和8年3月31日までの間に転出の予定がある方は、できるだけ早く担任までお知らせください。わかっている範囲で結構です。よろしくお願いします。

★夏休み中に本の貸し出しを行います

- 1 日時 8月5日(火)
9:30～12:00
- 2 場所 くじら図書館
- 3 貸出学年…**3～6年**
- 4 その他
(1)貸出冊数…2冊まで
(2)本の貸し出しのみ行います。図書室での読書はできません。
(3)自転車で来ないようにしましょう。

*令和7年度「くらしのやくそく」の見直しについて(途中経過報告)

今年度は、「くらしのやくそく」について各学級から出た意見を基に、各委員長による委員長会議、そして代表委員会で協議していきました。さまざまな意見の中から子どもたちが注目した内容は、「メディア時間に関する約束」と昨年度に引き続き、「キーホルダー」についてです。

各会議では、子どもたちが日々の生活の中で問題に感じていることを子どもたち自身で解決していこうとする熱意が感じられる意見が活発に飛び交いました。

メディアの時間は21時までとなっているが、寝る時間もそれぞれの家庭で違うので、親と相談して決めた方がよいのではないかという意見が出ました。

キーホルダーに関しては、昨年度決まった約束がしっかりと守られていないことが問題になっていました。改めて、キーホルダーを学校に持ってくると心配されることや持ってくるとしたらどんな約束が必要なのかを整理しています。

今後は、教職員や家庭・地域を含む学校運営協議会の意見も取り入れながら最終決定をし、子どもたちに説明するとともにホームページなどで公表していく予定です。子どもたちによる子どもたちのための明るい学校生活づくりにご家庭・地域の皆様にも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

